

平成 2 2 年度第 2 回尾張旭市立図書館協議会

1 開催日時

平成 2 3 年 2 月 2 5 日（金）

開会 午後 3 時

閉会 午後 4 時 5 0 分

2 開催場所

尾張旭市立図書館 視聴覚室

3 出席委員

岡田龍二、小林利之、村井弘子、熊谷朝子、高橋沼枝、子安幸代、

松田 修、細江敏明 8 名

4 欠席委員

芳賀 稔、小林陽子 2 名

5 傍聴者数

0 名

6 出席した事務局職員

教育部長：寺尾高志、図書館長：松原式信、館長補佐兼図書館係長：杉山 毅

主査：松下恭子

7 議題等

(1) 平成 2 3 年度事業実施計画（案）について

(2) 尾張旭市子ども読書活動推進計画（案）について

(3) その他

8 会議の要旨

- 会長（岡田） （開会のことば）
- 出席委員（8名）の確認 （芳賀委員、小林委員欠席）
- 教育部長 （あいさつ）
- 議事開始
- 会 長 議題（1）平成23年度事業実施計画（案）について事務局へ
説明要請
- 館長補佐 （資料1 平成23年度事業実施計画（案）より説明）
- 資料の充実、子ども読書活動の推進、ＩＣタグの導入、カウンター修繕等について説明。
- 会 長 <説明に対する質問・意見を求める。>
- 各 委 員 <質問等のないことを確認>
- 会 長 議題（2）尾張旭市子ども読書活動推進計画（案）について
事務局へ説明要請
- 館長補佐 （資料2 尾張旭市子ども読書活動推進計画（案）より説明）
- 会 長 <説明に対する質問・意見を求める。>
- 細江委員 本日この場で了解を得て決定となるのか、教育委員会等にかけるのか、今後の手順についての流れはどうなるのでしょうか。
- 館長補佐 現在パブリックコメントを実施しております。パブリックコメントでいただいた意見を計画に盛り込んで修正し、3月の定例教育委員会に提出します。そこで確定ということになります。
- 会 長 パブリックコメントについては現在までに何か意見は出ていますか
- 館長補佐 今のところまだ出ておりません。
- 子安委員 情報発信が大事だと思いますが、瑞鳳小学校と城山小学校では、学校から許可を得てホームページ上でブログを作成し、代表者が毎日プロ

グを更新しているそうです。それによってかなり影響があり、保護者の方の延べ半数以上が見るというホームページになったようです。市のホームページで図書館からのお知らせブログコーナーなどがある
といいと思います。今日の図書館や、児童館の図書室の状況など、図書館だけでなく、各施設持ち回りで毎日ブログを更新し、市のホームページを活用して情報発信するのはいかがでしょうか。

村井委員 たまたまのぞいた岡崎の図書館のホームページで、ボランティアの図書館での活動が紹介されていました。図書館を中心にいろいろなボランティアが発達していて、活動についての冊子も発行されており、図書館を中心にした市民の活動を知ることができました。

館長補佐 そういったこともホームページで紹介してできたらと思います。また、例えば紙で発行している図書館だよりを毎月ホームページに載せていくのも一つの方法だと思います。

子安委員 白鳳小も PTA 通信を保護者の方に配布していますが、白黒なのでインパクトがありません。実際原稿はカラーなのでホームページに載せるようにしてもらいました。きっと図書館だよりもホームページにカラーで掲載すればきれいで、目を引くと思います。

館長補佐 図書館だよりは毎月紙ベースで発行しているのですが、ホームページへの掲載もぜひ検討していきたいと思います。

会長 みなさんは図書館のホームページはご覧になられたことはございますか。私も図書館に関わるようになり拝見しましたが、いろいろな方が関心をもってご覧いただけるようになるといいと思います。

副会長 一番気になるのは、p.13以降の基本目標2子どもの読書環境の整備充実で、どうも地域、保育園、幼稚園、学校の図書館と尾張旭市立図書館の連携がまだなかなかできていないのではないかということです。この計

画の中ではまだ提案されていないのですが、例えば小中には限られた図書しかないため、図書館の本をすぐに取り寄せて利用するシステムができればいいと思います。

館 長 この計画の中では、団体貸出を利用して小中学校、保育園の整備充実を図ることを取組としてあげています。 団体貸出では、1回1か月100冊まで貸出ができるため、小中学校、保育園と図書館とが連携することにより、読書環境の整備充実を図ることができると思われます。

副会長 それも非常に大事だと思いますが、逆にまとめて貸出となると多すぎて気が引けてしまう面もあると思いますので、逆に1冊1冊貸出できる、または、小学校図書室が地域開放して、地域の図書館として子どもが1冊1冊本を借りることができるようなシステムができると、もう少し小中学校の生徒さんも身近に本が読めるようになるのかなと思います。

村井委員 今の、p.36 保育園と幼稚園の貸出のところで、保育園の園児への貸出が×になっています。私の経験から言いますと、幼稚園時代に母親が図書館まで足を運ぶというのがなかなか大変で、私の場合は、その時に幼稚園の本が充実していたため、そこを利用して本を借りていました。

p.36 では園児数がわかりませんが、保育園の蔵書数はあまり多くないように思われます。また、東部保育園は全部が児童書ですが、やはり一般書も置いて、母親も園児も一緒に保育園等で本を借りることができるので、保育園幼稚園の図書室の充実をした方がよいと思います。

移動図書館を含めてもう少し身近なところで充実できたらよいのではないのでしょうか。

会 長 私立幼稚園は貸出を行っているところもあるようですが、保育園では

貸出はまだ検討されていないのでしょうか。また将来的には、小学校のようにシステム化されるとよいと思いますが。

館長補佐

そうですね。貸出をやっている幼稚園でもまだコンピュータでは行っていないですね。保育園ではまだ貸出を行っていませんが、保育士の話によりますと、小さなお子さんに貸すという管理上の問題だということでした。ただ、お迎えの時などに、母親が子育てに関する本等を閲覧することはできるようですね。一般書の育児関係の図書を置いている保育園図書室もあるようです。

村井委員

子育てをしている頃は、幼稚園で貸出できるということがとても助かりました。

子安委員

私の経験から申しますと、尾張旭の私立保育園でお世話になりましたが、そこは貸出をしており、根本的に子どもが借りるのだから汚す、破るは当たり前で、もちろんしてはいけないのだけれど、破いた時はどうするかなど子どもに教えながら一緒に読んでくださいと、借りることができました。親向けのものは1人2冊2週間で、本を紛失したり、修繕をしたりということもそれほどなかったようです、あまり冊数はなかったのですが、保育士の先生が読んでくださったものをその日に借りることができるといったことが大事なかと、また、それによって気にいったものができれば購入して読むということにもつながるので、貸出していただくのがいいなと本当に思います。

また、地域との連携については、児童館が地域の窓口になって本を貸出していただければと思います。

館長補佐

児童館も新しい本を買う予算がなく古い本が多い状態です。

計画の中に入れましたが市立図書館の団体貸出を利用を促進していければと思います。今現在、児童館のうち数館は、団体貸出をほぼ毎

月利用しています。ですが、来館、運搬、管理の面で児童館の職員の負担が大きいようです。

村井委員 先ほどの自分が幼稚園から本を借りていた件ですが、貸出のお世話をするのは全て父兄のボランティアでしたので、児童館にもそのような組織があれば職員の負担も減らせるのではないのでしょうか。

副会長 連携の面から申しますと、尾張旭市立図書館のホームページで検索すると、この本は今小学校にありますとか、児童館にありますとか、保育園にありますとか、システムで各施設がつながって、どこにどの本があるかがわかるようになれば、重複も少なくて済むでしょう。また、どこに取りに行くのが近いかなどもわかるでしょう。図書館も、今後IC導入を利用してネットワークを広げることができると思います。まずは学校と図書館の間で、どこに本があるのかがわかり、本があればそこから融通してもらい、そんなシステムが構築できるとよいと思います。少しずつでよいので、市民の方がもっと身近なところで利用できるようなシステムを作れば、読みたい本が小学校にあるな、では借りてみようかということになってくると思います。時間はかかると思いますが、出来る範囲から取り組んでいってほしいと思います。また、大学もそういったネットワークに参加できればいいかなと思っています。

村井委員 お聞きしたいのですが、今図書館を利用するのは主にどのような方でしょうか。土日はいろいろな方がいらっしゃると思いますが、平日はどういった利用状況でしょうか。一般の主婦が多いのか、定年後の男性が多いのか。

館長補佐 平日の午前中などは定年退職された男性の方が多いかなという印象が見受けられます。その他は赤ちゃんを連れのお母さんとかですね。

土日のご家族、学生さんも試験になると多いですね。

高橋委員

p.19 のオのところですがボランティア交流会の開催とありますが、
こういう活動は図書館から呼びかけてもらえますでしょうか。

館長補佐

そうです。まず図書館から行わなければならないと思っています。

高橋委員

個人的にはぜひ参加したいと思います。さらには、おはなし会で共演
したうえで学校のボランティアさんといろいろお話しできるといい
と思います。

館長補佐

今回この計画を作る際に調査しましたところ、あちこちに読み聞かせ
ボランティアさんがいらっしゃることがわかりました。ボランティア
さんたちの横のつながりができれば、大きな力になるのではないかな
と思います。

高橋委員

各学校ごとにいろいろな活動をしていらっしゃいますし、こういうと
ころに少しでも参加できればいいなと思います。

ブックスタートに参加していますが6カ月の赤ちゃんなので、いつか
ら読ませるといいかよく聞かれます。小さい時からとても関心を持つ
方とそうでない方とみえますが、この統計を見ますと私どもが一生懸命
命本に親しむきっかけをお話ししたりする割には、その後の関心が増
えていないように思います。

館長

p.26 のアンケートで「お子さんは本が好きですか」という質問に対
して好き、どちらかというと好きと答えた方が3歳児健診、年長児と
もに90%を超える値になっておりますことを見ますと、ブックスタ
ートの効果がかなりあったのではないかと思います。大切な事業であ
るので、もっともっとすすめるべきだと思います。そのためには、い
ろいろな団体の方がこういうことをやるとよかったなどと体験談を
語って、情報交換ができる場を設けることが非常に大切であると考え

ます。

副会長 p.5 ブックスタート事業参加率というのが大変高いのですが、この参加率というのはなにを持って参加率といっているのですか。

館長補佐 健診の通知を出し、実際に健診の場に来てブックスタートに参加された数字だと聞いております。健康課からこの数字をもらいました。

副会長 もう十分 95%なら全員ほぼ参加ということなので、充分目標値達成に近いですね。

館長 ただ、サンプル数が非常に少なく p.24 にございますように 3 歳児健診の参加者が 161 人に対して、そのうち回答者が 69 人と大変数字が小さいです。本当は 1 年を通して集計を取ればよかったのですが、1 月に 1 回しか開催されないため、サンプル数としては非常に少ない状況です。

会長 <他に質問等のないことを確認>

議題（3）その他について事務局へ説明要請

館長補佐 (図書館だよりひまわり 2 月号により説明)

生涯学習フェスティバル事業の案内

会 長 <各委員に発言等確認>

<特に発言の様子なし>

図書館長 (閉会のあいさつ)

会 長 (解散のことば)